



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	11-4628-1	版	4.01
発行日	2024/01/18	前発行日	2023/09/22

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3MTM ケーブル清掃材 CC-3

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
電気用途

1.3. 会社情報
供給者 スリーエム ジャパン株式会社
所在地 本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門 電力マーケット技術部
電話番号 042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分 4
皮膚感作性： 区分 1
水生環境有害性 短期（急性）： 区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 3

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H227	可燃性液体
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403	換気の良い場所で保管すること。
------	-----------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	61
コットンパッド	なし	25 - 40
D-リモノン	5989-27-5	5 - 20

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション 3 に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
D－リモネン	5989-27-5	AIHA	TWA:165.5 mg/m ³ (30 ppm)	

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値)：労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値

STEL：短時間ばく露限界値

ppm：百万分率

mg/m³：ミリグラム/立方メートル

CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質： フルオロエラストマー

ニトリルゴム

樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。 ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ニトリル製エプロン
ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形の有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体 液体を含浸させた低発塵性の布
物理的状态：	缶または袋内の液体に浸された布製のパッド
色	白色
臭い	柑橘系
臭いの閾値	データはない。
pH	7
融点・凝固点	データはない。
沸点，初留点及び沸騰範囲	193.3 °C - 248.9 °C
引火点	62.2 °C [試験方法：クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	区分に該当しない。
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	< 133.3 Pa [試験条件： 25 °C]
蒸気密度/相対蒸気密度	> 1 [参照基準：空気=1]
密度	0.76 g/ml
比重	0.76 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	1.5 mPa-s
揮発性有機化合物	約 740 %
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	760 g/l

(JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

火花及び／ないし炎

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物**物質**

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

特段の規定はない。

特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報**ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

吸入すると有害のおそれ

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

物理的閉塞： 腹部痙攣、腹痛、便秘などの症状。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	吸入－蒸気		LC50 推定値 20 - 50 mg/l
水素化重質石油ナフサ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
D－リモノネン	吸入－蒸気 (4 時間)	マウス	LC50 > 3.14 mg/l
D－リモノネン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
D－リモノネン	経口摂取	ラット	LD50 4,400 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	ウサギ	わずかな刺激
D－リモノネン	ウサギ	刺激物

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	ウサギ	軽度の刺激
D－リモノネン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性**皮膚感作性**

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	モルモット	区分に該当しない。
D－リモノネン	マウス	感作性あり

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	In vitro	変異原性なし
水素化重質石油ナフサ	In vivo	変異原性なし
D-リモネン	In vitro	変異原性なし
D-リモネン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	特段の規定はない。	非該当	発がん性なし
D-リモネン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水素化重質石油ナフサ	特段の規定はない。	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	非該当	NOAEL データなし	1 世代
水素化重質石油ナフサ	特段の規定はない。	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	非該当	NOAEL データなし	28 日
水素化重質石油ナフサ	特段の規定はない。	発生毒性区分に該当しない。	適用しない。	NOAEL データなし	妊娠期間中
D-リモネン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
D-リモネン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 591 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
D-リモネン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
D-リモネン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。		NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
D-リモネン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 75 mg/kg/day	103 週
D-リモネン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週
D-リモネン	経口摂取	心臓 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 筋肉 神経系 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	103 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	誤えん有害性
D-リモノン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS 水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS 水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
D-リモノン	5989-27-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	0.702 mg/l
D-リモノン	5989-27-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.32 mg/l
D-リモノン	5989-27-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.307 mg/l
D-リモノン	5989-27-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	8 日	EC10	0.32 mg/l
D-リモノン	5989-27-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.174 mg/l
D-リモノン	5989-27-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.153 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	実験	72 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	ニジマス	実験	96 時間	LL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	1,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
D-リモノン	5989-27-5	実験 生分解	14 日	生物学的酸素	98 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)

		性		要求量		
D-リモノン	5989-27-5	実験 生分解性	14 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	>93.8 DOC除去%	OECD 303A - 模擬好気性下
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	31 %BOD/ThOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
D-リモノン	5989-27-5	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	2100	Catalogic [™]
D-リモノン	5989-27-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.57	
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の3)

労働安全衛生法：施行令 18 条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

消防法：指定可燃物 (可燃性固体類)

労働安全衛生法：施行令別表第6の2 有機溶剤

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
水素化重質石油ナフサ	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

- セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正.
- セクション10：避けるべき条件 情報修正.
- セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。